

教科名〔 数 学 〕

| | | | |
|------|-----|-----------|------|
| 科目名 | 単位数 | 学年・組・コース | 担当者名 |
| 数学演習 | 4単位 | 3学年理系 選択者 | * |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | <p>数学 ・ の基本的な内容の復習から、応用的な内容までを、問題演習を通じて学習する。 計算力と思考力の向上をめざす。 テーマ毎に広い視野で問題を取り組む姿勢を養う。</p> |
| 使用教科書・副教材等 | <p>数研出版 テーマ数学 完成ノート「方程式と不等式」、テーマ数学 完成ノート「2次関数」 テーマ数学 完成ノート「図形と計量」</p> |

2 学習計画及び評価法等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 備考 1.学習活動の特記事項 2.副教材の使用など | 考查範囲 | 評価の観点のポイント | | | |
|------|----------------------|------------------------|--|---------------------------------|------------------|------------------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・表現 | 知識・理解 |
| 第1学期 | 微分と積分 方程式と不等式 | 4 ・ 5 | <ul style="list-style-type: none"> 多項式の和・差・積,展開の公式,因数分解,を中心に基本的な計算が確実にできるように練習する。また、式の書き方や“=”の使い方などを正しく身につける。 | テーマ数学 完成ノートを毎時間提出と個人の発表をさせる。 | 第1学期 中間 考查 | | | | |
| | 方程式と不等式 | 6 ・ 7 | <ul style="list-style-type: none"> 数を拡張させて、根号を含む式の計算などもできるようにする。さらに、方程式や不等式に発展させて解けるようにしたい。 文章題の内容を的確に把握できるように応用力を身につける。 | テーマ数学 完成ノートを毎時間提出と個人の発表をさせる。 | | 第1学期 期末 考查 | | | |
| 第2学期 | 2次関数 | 8 ・ 9 ・ 10 | <ul style="list-style-type: none"> 関数の概念を理解させ、2次関数の性質を十分習得させ、様々な問題に対応できるようにする。 グラフが書けるように何度も練習する。 | テーマ数学 完成ノートを毎時間提出と個人の発表をさせる。 | 第2学期 中間 考查 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--------------------------|--|---|----------|--|--|--|--|
| | 2次関数 図形と計量 三角関数 | 10 ・ 11 ・ 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・グラフを使っている問題が解けるようにする。 ・三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張の基本的事項を理解させる。 ・三角関数のグラフが書けること。加法定理、三角関数の合成の基本的事項を理解させる。 | <p>テーマ数学 完成ノート</p> <p>を毎時間提出と個人の発表をさせる。</p> <p>講義と演習プリントを中心。毎時間提出</p> | 第2学期期末考査 | | | | |
| 第3学期 | 図形と計量 生活にある数学 | 1 ・ 2 ・ 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形、立体図形の復習をして、総合的に図形を理解させる。 ・まとめとして、身近な生活の中にある題材を数学的に捉えて応用できる力を養う。 | <p>テーマ数学 完成ノート</p> <p>を毎時間提出と個人の発表をさせる。</p> <p>講義と演習プリントを中心。毎時間提出</p> | 学年末考査 | | | | |
| <p>【1・2・3学期における課題・提出物等】</p> <p>各学期とも、授業中の教材やプリントなどを提出させる。</p> | | | | | | | | | |
| <p>【1・2・3学期における評価方法】</p> <p>小テスト・定期考査の成績・提出物の内容・授業態度・個人の発表などを総合的に評価する。</p> | | | | | | | | | |